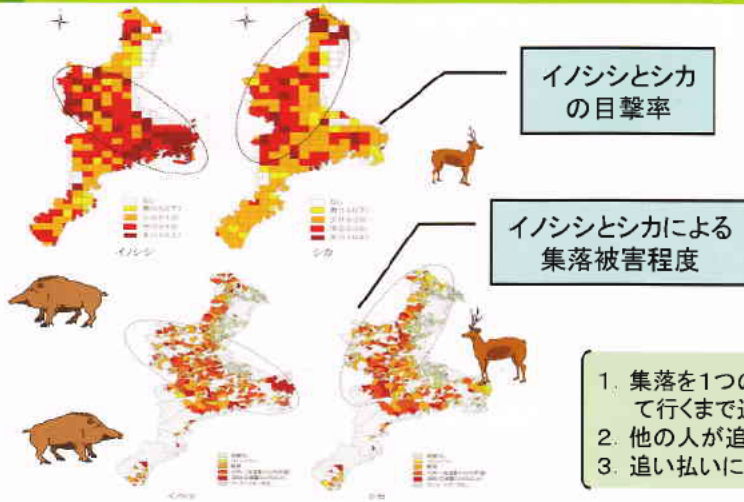


総合的な農作物獣害防止対策技術の開発

狩猟者の出猟報告を活用したイノシシ及びシカによる農作物被害程度の推定

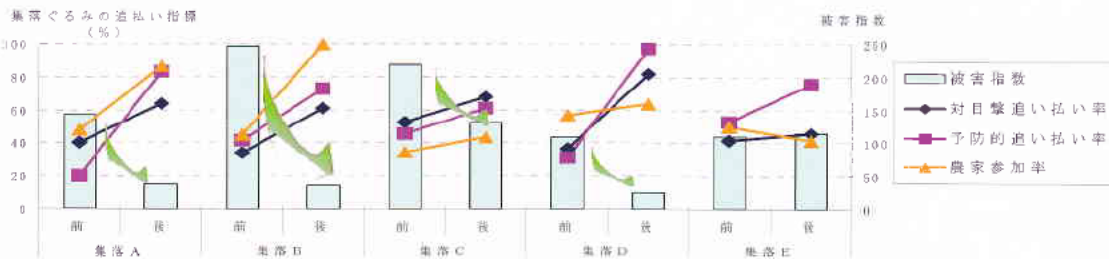


集落被害程度と集落が含まれるメッシュの目撃率との関係を見ると、集落被害程度が高いほど目撃率が高くなり、集落被害程度が高いほど目撃率が高くなります。このことからイノシシ、シカの各獣種について、出猟報告情報をもとにした目撃情報により農作物被害の程度を推定することができます。

集落ぐるみの追い払い

1. 集落を1つの農地と意識し、サルを見たら自分の農地以外でも集落から出て行くまで追い払う。
2. 他の人が追い払い始めるのに気づいたら、自分も参加し複数で追い払う。
3. 追い払いには花火、パチンコ等、複数の威嚇資材を使用する。

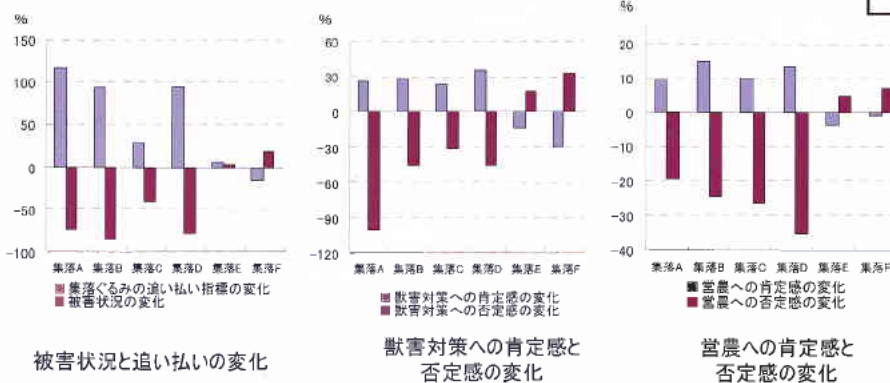
集落ぐるみのサル追い払いによる農作物被害軽減効果



「集落ぐるみの追い払い」の進捗を示す指標として、「農家参加率」「予防的追い払い率」「対目撃追い払い率」が向上することで、サルによる農作物被害が軽減されました。



集落ぐるみのサル被害対策による農家の意識向上効果



集落での被害対策が進展し被害が軽減することは、集落農家の被害対策への意識や営農意欲といった農家意識を向上する効果があります。

1. これらの結果は、集落が一体となった獣害対策が地域農業の維持に寄与し得ることを示す結果として、集落での農作物被害防除対策に活用できます。
2. 集落が一体となった被害対策が進まず、被害軽減ができない場合、被害対策や営農への意欲が低下する可能性もあるため、被害対策の推進に当たっては十分な集落の合意形成が重要です。

三重県農業研究所 経営・植物工学研究課

〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町530

TEL 0598-42-6356 FAX 0598-42-1644